夕刊
磐城新聞
四月二十六日發行
（日曜祭日翌日休刊）

台灣から 一

青木淳

臺中州の埔里を二十日午前九時に發つて長い事自動車に搖られ、山又山谷又谿と越ねて水裡坑についたのが十二時、何かしら一刻も早く臺北に歸へりたいと考へて、晝もたべずに汽車に飛び乘つた

二水驛で乘り換へてみたが、田中驛で京都の中學に入學する生徒三名と其父兄と出會ふ事になつて居るので止むなく田中驛に下車して見た

驛の構內には、子供を幾百里も離れた內地――京都に勉學にやるといふので、その父兄達がその子と別れる爲にやつて來てゐた『どうぞよろしくたのみます、この子は二才の時父親に別れたので一人息子です、出世の爲には仕方ありません京都にやりますから』母親はボロ〳〵涙を流すと、一人息子の生徒もしく〳〵泣き出す有樣、私も胸せまるおもひ

それぞれ愛惜の涙にくれたが、夕方の汽車にのせてその田中驛を發つて臺北に向ふ

夕暮の砂糖きび畑の涯てしなく續くあの廣野輕便汽車にのつて歸へり行くその父兄等の事を想像し乍ら赤く沈み行く太陽を見つめたのだつた。船は二十二日出帆であるから二日前に臺北に來た譯であるが、これが私等の幸福とならうとは考へられなかつた。その汽車に乘つて今回震災にあつた土地を夜、遲く通はつて來た。頂度海岸線と山線の分岐點に近い所に來たとき東の車窓からみると遙かに續く山々の彼方に赫く火柱がたつてゐる。吐息のやうなその大きな火柱が天に沖して物凄かつた

これは二週間前に爆發した錦水の石油坑である。何時消えるとも見込たたぬといふ。私はその火柱が眞暗な夜空に炎々として輝いてゐるのを見て

『何か凶變が起らねばよいが、地震でも起るのではないだらうか』とある豫感がした

その夜、臺北に着いて江山樓の五階の一室に久し振りにたどり着いたのだつた翌日、いねられぬ夜がしらしらと明けたと思ふとき、グラ〳〵ッといふ地震だ五階で而も煉瓦造りときてゐるから倒れるのではないかと實に心配した

磐城歌壇

新妻久滿男選

『同窓會』　諸橋嘉一

○師の君を圍みて集ふ同窓の、友ら無事なるを喜びゐへり
○各々の進める道にいそしめる、同窓生の集ひ樂しき
○懷しき思ひ出話に友等みな、時の過ぎるを知らず語らふ
○嬉しさは皆が顏面にみちあふれ、おのづとなごむこの室の中
○何時までも盡きせぬ名殘り惜しみつゝ、また逢ふ日をば約し別れぬ

小評　共鳴共感の淺いのは、この聯作が敍文的色彩を帶びてゐる爲である。この和やかな氣圍ふんに坐て、作者は只己の心的道程を說明して了つたからである。作者は今何物かを歌に詠み込む熱と力とを有つてゐるのは嬉しい事であるが、一歩深く突込んでものを掴んでもらひたいと思ふ。

五月題詠として　五月五日締切
『摘草』『宵』『春雜詠』
（歌數隨意）

洛外紀行

湯嶽　佐波古直貞

男山八幡
茅宇彩宮幾變遷
荒涼今日轉蕭然
神鐙大小無燈火
路闇男山磴下邊

水無瀬宮
渡船小客兩飛頻
問路不知鄕土人
社頭顧眄紅涙落
低佪東北小憂民

潮聲硯靜抄帳

長閑　志村艸丘子

山からの水に鯉飼ふ長閑なる
吹かれきては艸に消ゆく春の雪
田のへりは艸がかぶさり春の水

春光　井上隅川子

折れてゐる艸に灯とゞく小夜の春
枝ふりを夜のものとこそ春の月
春光や木苺の花葉がくれに

風　平町　長谷川武士

濱に來りし我れに泣くはだへさむし松風の音

想ひ出

長々と松をぬつてる影を見る、一人淋しき濱の月
月みれば個々に昔ぞ想ひ出る、樂しかりし幼き頃
十字路に立ちし我れに語る、心ににじむ想ひ出の日

随筆　ヒゲについて一言

一史寒士

五

要之、ひげは猛獸にとつても、武人に於ても、廣くは歷史的な人物の上にも將又今日の社會上生活上に於ても其の効用の範圍は決して狹いものではない

此處で、ヒゲに結末をつけることにするが、これに先つて人間の先祖の原始的な古代に於て彼等がどんな恰好で生活してゐたかを顧みておき度い。それはア・ボクタノフやダーウヰンの所說を藉りる迄もなく、素ッ裸かであつたことは判斷するに難くはない。それは勿論人類が勞働や生產を開始せず天然のものを食餌としてゐた時代であるから今日の畜獸の樣に体の全面か毛に包まれてゐたと想察出來よう。哺乳動物の中で特に知能の方面で天禀的に優越した人類は漸次集團的生活と工作とを以て他種動物や自然の猛威等と闘爭し征服し、或は之を利用し馴致して斷然萬物の靈長らしい進化を辿つた。其間には桑田の變じて大海と爲る樣な氣候の變移もあつたらうし其他諸多の複雜な過程もあつたに違ひないが、これはひげとは緣遠い關係だから省くとして――。とにかく吾々が試みに裸かになつて直立するなり四ッ這ひになりしても、吾々の毛は悉く袋を著たように下を向いて伏てゐる。此の下向きの毛こそは在りし時代、雨を風を寒さを避けた處の、今日ならば著物の役割を果たものであり、原始時代の生活狀態を窺知するに足る遺傳的形狀である

人類には全世界の全民族を通じて祖先を崇拜するといふ美俗がある。形見（遺品）の品を身につけて親爺の在世を偲ぶことも、聖賢や大人の愛翫し又は作つたものを競つて入手しようとする意慾も廣義には人類の祖先らに對する思慕尊敬の情に外ならない

その日〳〵

4月27日

△ソクラテス害さる（孝昭帝七五）△高松城水攻め（天正一〇）△獨の外債支拂停止表明に對し英佛抗議（昭和九）

○

一番おくれて春めくプラタナスの樹も、このごろやうやく芽ぶいてきた――。

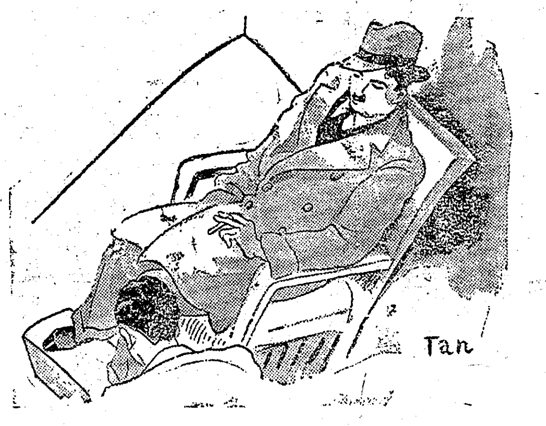
小說　誰が殺したか（3）

國枝史郎作
龍造寺膽齋畫

第一の殺人（三）

定吉は二十七才、蝶子は二十才だつた

自らを蝶子の兄と假想することが定吉の云ひしれぬ秘かな樂しみだつたし、だから蝶子の身邊にはいつも何かと氣を配つてゐた



彼の仕事場はホールの前の廊內ではあつたが彼にはホールの中のことは、ダンサーやバンド・マンから客のことまで一切手にとるやうにわかつてゐたし、蝶子は誰と一番多く踊るか、近頃はどの客が蝶子に野心を持つて近づいて行つて居るか――みんな彼には凡その見當がついた

勿論ソシアル・ダンスはステップ一つ踏めなかつたが、ホールは覗かなくても奏樂によつて、今はブルースだとか、次はフオックス・トロットだとか、見わけることを、いつの間にか覺えこんでゐた

自分に客のない時にはボロ服のズボンに兩手を突込み、壁に寄りかゝつてホールから流れる微かな衣ずれやら何かの遠い波の音のやうなざわめきを胸に吸ひ込み思はずバンドのリズムに口笛を合してゐることもあつた

それが定吉に、わが青春を夢のやうに感じさせるたつた一つの瞬間だつた

昇降機がとまつて、中からこのホールへは初めての客らしいのがみつかると定吉はまづ、こいつは蝶子につき纒ふ種類の男かどうかを、一見して鑑定することを習慣にしてゐた

蝶子はいつもナンバー、ファイブを下らなかつたし目覺める程美しかつたし、おとなしいし、誰にでも男の眼にはとまり易かつた。

『こいつは女蕩らしらしい顏つきだ』

と思ふと、彼は俄然、ナイトのやうに緊張して蝶子の身邊から警戒の眼を放さなかつた

『チエッ、達者な野郎だな！』

定吉はまたさつきの青山のことを思ひ出してゐた――

『だが、蝶子さんは殆ど許しかけて居る今日明日にはあいつと結婚の約束までしてしまふかも知れねエ。とんだイカモノを掴ませられかけてるんだ。こいつは早く何とかしなければ……』

と

『おい〳〵』

臺の上からマネーヂャーの聲だ

『今夜、定公柄にもなくボンヤリ物思ひに耽つて居るつて恰好ぢやないか。近頃戀でもしたのかあたしこの戀なのよオ、何だか何だか變なのよオと來らア』

支配人は小し酒の匂をさせてゐた。今夜は本當は俺はどうかしてゐると定吉は思つた

『お出かけだつたんですか！』

『支配人のお役目も、これでなか〳〵樂ぢやないせ。どうだい定公、お前と仕事の取換つこをしようか』

『冗談ばかり。でもいゝ御機嫌ぢやありませんか』

『面白くもない所へ呼び出されてくさ〳〵しちやつたから、一寸一杯ひつかけて來たんだ。彼女は今日は遲番だが、來てゐるかね』

『彼とおつしやいますと…？』

『君にいつもやさしくしてくれる彼女さ』

『蝶子さんの事ですか』

『その外に君に親切にしてくれるダンサーはゐまい』

『蝶子さんなら勿論みえてゐます……』

支配人は台椅子からニヤけた顏で定吉を見下した

外科
內臟外科
レントゲン線
病室完備
醫學博士　諸橋鐵彌
新川町二一七（電四六四）

小兒科……
平町南町九〇番地
志賀醫院
電話一六二番
（入院應需）

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい……
直に家政婦を派出します。
親切叮嚀！…料金は極めて低廉です
姙產婦の御家庭　御病人の付添　炊事や雜用　お留守居番　年寄やお子さんの付添

派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二（電話二二）
上原家政婦會
會主　產婆　上原通子

二十四日より博覽會の最終的奉仕
……市民デー……
博覽會ご演藝館共通十錢
博覽會は諸費用を省き之を以て閉會式に替へます、演藝館は斬新なる大魔術を加へて御覽に入れます。

今年もお馴染の
横濱植木會社特選の
ハナのタネが
參りました。何れも輸出向優良種子です
西村屋藥局
種子部
平2・電3・

夜間診療
胃腸　性病
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電一〇七番）
（見習看護婦募集）

洋服は
高島屋
特製男女通學服！特價提供……
男子一年生用紺サージ三、九〇ヨリ　綿サージ一、六〇ヨリ　小倉同一、四五ヨリ
女子用サージ三、三〇ヨリ　綿サージ一、六五ヨリ
男女防水萬套一、三〇ヨリ
其他春物新荷豐富取揃
注文並に既製品
高島屋洋服店
平町二丁目　電話三八六番

眞の流線美
グロ化を排してクローム直線の交叉も美しき
35年型拔群の
陸の王者
流線ダツチ
彩りも花と艶を競ふ……銀ネヅミ
御試乘下さい
素晴らしい乘心地を！
東京鐵道局公認
不二タクシー
電話三二番

內外建築材　建具材
阿部材木店
磐城國平町（公園下）
阿部好利（改メ）
電話四九四番

磐城家庭婦人會
皆樣方の御手不足を補ふ家庭婦人會が出來ました
どうぞ御試用下さいませ。
親切。迅速。
◎會員募集（入會金ト維持費ハ申受マセン）
平町字田町五（元郵便局ウラ）
駒井ヒデ

國は日本。凍魚はヒノマル
ヒノマル
凍魚
日本水產一手特約
發賣元
平製氷株式會社
電話二八一・三一六番
平町代理店
卜印魚問屋
電話五二八番
鯛。海老。白魚。イカ
刺身魚、煮魚、各種品々一個一尾ニテモ迅速配達……

產婦人科
外科
藥局
院長　木村寅次郎
醫學博士　內木宗八
藥劑師　玄番彌一
入院隨意
病室完備
平町新川町十九番地
木村病院
電話一六四番

會遊の小名濱に殘る 九條武子夫人の眞筆

築地本願寺に建つた歌碑と同じ一首

麗人の追憶に甦る新米の座敷

小名濱町第一流の旅館兼料理店『新米』の表三階、恰も土藏の戸前の様な重い壁戸を明けると、一寸氣づかない様な一室がある。明朗な營業方針の家とて別に親展室と云ふでも無く單に五月蠅くない室を望む客に提供してゐるに過ぎぬが、外界とは些か縁遠い造り方で、少く新米を知る程のものは『ハハアあの室か』と頷かゝる事であらう

×

そこの床の間に掛けてある衮装も瀟洒な三十一文字の一幅。今は良き程に煤ばんで

おほきなるものの力にひかれゆく、わが足あとのおぼつかなしや

と讀まれる筆端も伸々と、その神品のたゞならぬも道理、これぞ男爵九條良致氏夫人で、大谷光瑞師の妹、東京眞宗婦人會長、新進の閨秀歌人として餘りに世人に知られた今は亡き九條武子夫人が曩年小名濱に遊んだ折ものされたものである

──風に吹き寄せられた落葉の一片ごとにも、思ひ／＼のなごりはこもる この書は芽ぐみ、育ち、かつ散つた私の心の落葉をかき集めたに過ぎぬ──(後略)

と叙文の冒頭に云つてあるその著『無憂華』にも之れの色紙がその卷頭を飾つてある處から觀るとこの一首はよく／＼女史として會心の作であつたらしい

×

落慶大法要中の築地本願寺で去る廿一日境內に建てられた麗人九條武子さんの歌碑の除幕式を行ひ光照法主の令妹大谷政子姫の手によつて除幕され參集の人々をして眷戀の追憶に仰がしめた碑面の歌もこの一首であつた。小名濱に殘されてある『おほきなる』の眞筆にして靈あらば、室に吹き入る明るい初夏の潮風に、はた／＼とその風鎭を鳴らす事であらう

小名濱港から 百廿名に便乘許可

艦上點呼の軍艦那珂廻航

今年度艦上簡閲點呼のため軍艦那珂は既報の如く來る六月十四日午前十一時半小名濱入港、十五日點呼の上翌十六日午前八時鹽釜に向け出發する豫定であるが例によつて午後一時から同四時迄觀覽を許可する外出港の際、左記該當者百二十名に限り便乘を許すので希望者は來る二十九日迄平町役場兵事係宛申込まれたいと

△官公吏△國會、府縣會市町村會議員其他之に準ずべき者△在鄕軍人會員△海軍々人及其の家族△新聞、雜誌記者又は之に準ずべき社會通報機關々係者△學校敎職員、學生生徒△青年學校職員、生徒、青年團員△軍事扶助團体其他之に準ずべき者△少年團幹部員、海軍協會員並に海運有終會員△海軍々事に功勞ある者

應募六十名

理、結髮試驗と本郡

本縣理髮、髮結試驗は來月十七日から三日間郡山市公會堂で執行するが平署管內から約六十名の應試者がある

長より金一封を添え表彰された

大日本炭礦 從業員慰安

勿來町大日本炭礦では來廿八日午前九時から第五回從業員慰安運動會を催し夜は提灯行列、書會並に懸賞付假裝行列がある

牝馬奬勵金交付。

石城產馬畜產組合では此程農林省から種付牝馬設置奬勵金として二百四十圓を交付された

郡下海軍兵採用廿四名

六月一日入團者決定

本縣に於ける今年度海軍志願兵採用者は二十五日二百六十一名を採用し六月一日入團せしめる事に決定發表されたが、本郡關係者は左記二十四名である

水兵（四倉）若松嚴、同（永戸）草野勇、同（鹿島）高萩守政、同（高久）青木安政、同（平）松崎三郎、水兵）（川部）蛭田八二郎、常電信兵（四倉）阿部傳、同（湯本）越前好秋、同（勿來）鈴木皆雄、航空兵（草野）小島衛、機關兵（上小川）長瀨喜藏、同（大野）大和田正雄、同（四倉）島田司、同（湯本）小宗德、同（磐崎）小野勝郎、同（小名濱）松本新太郎、同（赤井）船生一三、同（同）大里豊、機關兵（平町）田久勇、同（同）草野菊雄、同（勿來）中野文一、主計兵（四倉）今井勝儀、同（小名濱）高木三郎、看護兵（內郷）服部繁

磐中創立四十周年記念美術展

各方面の多數出陳に 空前の盛會を豫想さる

磐城中學校では既報の如く來月五日創立四十周年記念日に當り運動會を催す外同日より三日間Ｘ會その他の美術會が合同し記念祝賀の美術展覽會を催すので目下その準備に大童の態であるが、運動會には例年の出し物の外に新に時局を加味した『世界早廻り競走』及び珍趣向の『五十三次早上り』等案出して當日の催しに花を添ゑ、又美術展覽會側も同校美術部Ｘ會は勿論、同校卒業生等の白鴉會、地方斯道研究者の美友會、その他參考品を出陳する東京美術校錦巷會、及び圖書敎育獎勵會等より昨今續々出陳物が搬入され會期間中の盛會を豫想されてゐる

磐女警笛會

汽車通學生の結束

磐女校では此程汽車通學生を以て警笛會を組織し該通學生相互の注意、親睦、融和を計ることとなり常磐線上り、同下り、磐越線の三部に夫々役員を定め近く發會を擧ぐると

合祀される志賀航空兵

二十六日から執行される靖國神社の臨時大祭に合祀される本縣人十九名中本郡は神谷村航空一等兵志賀義忠氏が唯一人加はつてゐる

小川江筋組合議員選擧

昨二十五日執行 廿七名の當選顏ぶれ

小川江筋組合議員選擧は昨二十五日開かれ左記二十七名が當選

（草野）渡邊市彌 猪狩末造 中根秀次郎 坂本房義 坂本松榮 新妻榮孝 芳賀憲雄 粥塚富一郎 （大野）白土卯平次（大浦）木村清治 赤塚鶴次郎 酒井良平 鈴木傳 古市忠八 （四倉）佐藤唯之助 （下小川）柴崎佐之吉 松本長命 （平窪）松崎松治 松本德一 金成德重 木田源三郎 矢野初彌 （神谷）箱崎昇吾 片寄伊之助 佐藤長壽 須藤孝敬 新妻利平次

李福童の逮捕に助力

功勞者二名を表彰

赤井村福島炭鑛人事係長駒場金之助、同係山部政之助兩氏は去月八日赤井村に起つた爆藥盜難事件搜査に際しよく警官に援助犯人李福童の逮捕を容易ならしめた廉により此程島田刑事協會

農政座談會 双葉郡

農會では曩に富岡新山兩町に於て第一回農政座談會を開催し農山漁村の對策其他に關し極めて好成績を收めたが更に第二回の座談會を明二十七日午前九時より同郡浪江町小學校講堂で開催講師として中島平區裁判所監督判事、大島福島縣農會副會長、伊達農工銀行平支店長等が出張する

△健康に優る寶なし△健康は最大なる資本なり△一錢の豫防百圓の治療

郷土の史的時事解説（二） 勿來生

白水阿彌陀堂の第二回修理（八）

本堂宇の特別保護建造物並に內壇安置五佛像國寶各指定に就て

此には岩城家と關係ある著名の八（波とも）立藥師の古堂がある（顯眞に就いては、既述の岩城次郎の註に併述したから、其の條と繼考せよ）以上のとほりである

次は謂はゆる記錄に載せるもので、固より怪ぶべきであるが、即ち

岩崎隆久、正和二年（一九七三）癸丑三月十五日卒、法號成覺院殿法庵常一居士、笛ケ森に葬る（中山家傳、捃拾雜記）○前條に云ふ隆久と此の隆久は、時代が相通ずるから同人か。されば岩城系圖に云ふ隆行三男の隆久か、尤も後世にも別人の隆久がある。例へば飯野文書の觀應三年（二〇一二）七月二十日狀に「岩崎三郎左衛門尉隆久」文和元年（二〇一二）十二月十五日狀に「岩崎村上三郎左衛門尉隆久」文和二年八月二日狀に「岩崎村上隱岐守隆久」康曆二年（二〇四〇）三月廿六日狀に「左馬助隆久」、尙ほ他にも見られるが、以上の三名は同人らしく思ふ。其れより降つてまた隆久の名があるが、何れも同名異人である。但だ中山家傳に云ふ初代隆久、法號は常一であれど、異本は願心（信とも）とあり甚だ合はぬが、系圖の註する願心は別人に對する誤傳か、夫れとも中山傳の方が別人か徵證を欠くかくあり、姑らく假引して後考に俟たう

さて太平記の名文中に、岩城、岩崎に次いで左の者があつたのは奇しきことである

高久孫三郎、同彥三郎（同上）○但しに前項も言つた通り太平記の汗牛充棟もたゞならざる近世前後の之が寫本の坦刊するもの皆『岩崎彈正左衛門尉高久、同孫三郎、同彥三郎』と句讀點を以て之を明示するが、右の高久は岩崎の名でなく、實は下の「孫三郎、彥三郎」の苗字で、孫三郎の上の『同』の一字は、最古寫本を作る際の衍であると思はれよう

あす鳴り物入りで結核退治の宣傳

平署の準備悉皆成る

平署では明二十七日の結核豫防デーに際し管內全般に約五百枚のポスターを揭出する一方午前八時から署員が自動車に分乘鳴物入りで管內を巡回標語入り五萬枚の左記宣傳チラシを撒布趣旨の普及に努むる事になつた

道路工事入札

石川湯本線入遠野村大字大平地內道路改修（工期四十日）並に小野新町平線上小川村大字上小川地內堰の上橋復舊（工期五十四日）工事入札は何れも來月四日平土木監督所で執行される

理髮組合の縺れ綺麗薩張り解決

自治的の陣容全く整ふ

平署管內理髮業組合は從來內部に於ける或種の底流から常に其の步調が亂れ勝ちな爲、歷代署長を組合長として當面を統制して來たが當業者の自覺が緩和されるに至つたので此程同署會議室に開いた總會に於て組合員から左記役員を擧げ將來の圓滿と業務の向上を圖る事となつた

（組合長）平─加藤宇之吉 （副組合長）平─石崎幸一 湯本─野崎德三郎

チフス 保菌檢查

平署ではいよ／＼傳染病の流行季に入つたので此程開かれた衛生主任會でも諸般の協議打合せをしたが昨年は打續く天候不順から腸チフス、パラチフスの續出合計百六十一名と云ふ近來の記錄を作つたのに鑑み、縣衛生課の通牒により來る二十八日から平細菌檢查所により昨年の罹病全快者に對し保菌檢查を行ふ事になつたと

赤紫紅白八重一重 是非御來遊を！

町の躑躅見客寄せ手紙

名物櫻の後に來るものはこれ赤遠近に著聞する濃艷な躑躅の繪卷だ、町役場でも來月十日前後の見頃を控へて目下電飾裝置や其他の準備に忙しいが例によつて遠來客の吸收が第一と昨二十五日左の如き宣傳依賴の繪葉書數百枚を縣內及仙台、茨城方面の主要官公衙、銀行、驛、會社等に發送した

種類三百株三千、赤紫紅白八重一重美を競ひ妍を爭ふ、夜間は電飾にて更に美觀を添え每年觀客蹈を接す、平驛より僅に半粁是非お誘ひ御來遊を得度乍御手數各方面へ御吹聽御依賴致度候

佐藤素秋翁喜壽祝賀吟

地方俳誌『潮聲』の特選其他俳壇の先達として俳誌刊行の支援及後進の指導等常に斯界に貢獻しつゝある佐藤素秋翁には今年喜壽の高齡を迎へ近く喜壽祝賀の記念刷子を配冊する事となつたので潮聲會員は左記により祝吟を集むると

祝詠一章、用紙─はかき又は便宜の用紙、屆先─平町北目町赤羽松堂居、〆切─五月十日まで

ブローカー紛糾

平町田町呉服商鎌田善六氏は此程東京市四谷區內藤町ブローカー業右近幸吉氏を相手取り四谷署に詐欺の告訴をなした

鎌田氏は昨年十一月箕輪村にある三寶炭鑛を讓り受け經營する事になり事業資金の調達方を双葉郡木戶村松本幸助氏に依賴したが捗々しくないので松本氏から知人の前記右近氏に依賴した處旅費其他の名目で合計三百餘圓を使ひ込まれゝため此の擧に出たとの事で平署では四谷署からの照會により今二十六日鎌田氏を調べた

梨栽培講演會。

石城郡農會では來二十九日午前九時から內鄕村御臺境一の矢神社に東京農大敎授立花千秋氏を招き梨栽培講演會を催す

地方消防視察。

長野縣上田市橋詰武氏外四名は同部內各消防組三十一組を代表し來る三十日平署管內優良組視察に來郡

植田養雞組合總會。

來月

澤村神社例祭。

來月一日草野村同社で執行、神輿渡御其他餘興がある

石城果樹組合總會。

今二十六日午前十時から平團体事務所に開き豫、決算を附議可決した

人命救助表彰。

川前村川前會田德重（三八）は去る十日磐越東線川前驛構內で同村大平貢（五）君が列車の驀進して來るのを知らず線路內に遊んでゐるのを助け出し昨二十五日伊藤知事から金一封を添へ表彰された

亂暴男に廿圓。

既報─湯本町大字湯本字上町石井松次方居住茨城縣鹿島郡沼前村駒場生れ無職三塚時之助（三四）が舊臘十日午後十時半頃同町三函料理屋小松屋事山崎コウ方に登樓、飲酒中些細な事から偶然來合せた同町天王崎千葉字一郎（三六）と口論の末有合せた瀨戶火鉢を投付け同人の顳顬部に十日餘を要する傷害を與へた事件は今二十六日平區より略式命令で罰金二十圓に處された

諸判定旅館 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

舊三月二十五日 土曜 癸酉 先負 執 柳宿 新四月二十七日

▲一白の人 目上には善くとも左右の折合は惡しき日▲二黑の人 出先きに故障のひ發しる日萬事進むべからず凶▲三碧の人 人に後るゝともつまづかざる樣すべし急ぐは凶▲四綠の人 天命の日にして何事にもあれ凶に走り易し▲五黃の人 運氣浮動する日迷ふ時は靜の手に乘り易し▲六白の人 空想に走りて本を忘れ易し人の口に乘るな▲七赤の人 ほうばいに善く目上に惡し逆はぬ樣に注意せよ▲八白の人 調子能く行くかと思ふ間もなく覆り易き日▲九紫の人 禁斷は大敵勉むれば大抵の難事も遂げるべし

二十七日（小名濱測候所調查）

日出 四、五一 月出前 一、〇七

日沒 六、一九 月沒前 一一、五九

滿潮前 九、三五 干潮前 四、一〇 後 五、三五

廣告

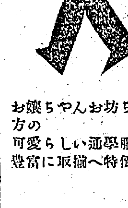
…試驗機完備…
發電機 マグネットチアージ 蓄電池 コイル モーター
一般電機捲替並修理
久野電氣工業所
平町紺屋町五三 （呼電）三六六番

株式買賣、債權取立
合資會社 三共商事
平町大町 電三六〇

品質第一
電話二六八番
平乳舍
平町・九品寺前

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
釜屋商店

確實敏捷は〆の生命なり
磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

新學期
通學服賣出

男兒用
紺サージ金釦服…3.60より
上口黑小倉服…1.60より
女兒用
紺セルセーラ服…2.60より
紺サージ制服…3.60より
お孃ちやんお坊ちやん方の可愛らしい通學服を豊富に取揃へ特價提供
ふかや洋服店 平三 電203

お醬油は……ヤマフル
醸造元 山崎合名會社
福島縣平町 電話（營業部一〇番 本店二七番）
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
明治生命磐城代理店 山崎與三郎